



子どもとメディア 北海道

第56号
2024年
4月発行
今期第4号

「子どもとメディア北海道」設立して14年が経ちました！

15年目に突入！！ これまでを振り返ってみました

★早いものですね。15年前になりますか・・・諏訪代表とナカヤが、福岡で開催された「NPO 子どもとメディアインストラクター養成講座」を受講して、その直後に「何ができるかわからないけれど、北海道で『子どものよいメディアとの付き合い方』について啓発していこう！」と、この会を立ち上げました。

★そして、道内での授業や講演活動が増えるにつれ「インストラクターとして啓発活動に関わりたい」と希望してくれる人と出会い、2018年に北海道でインストラクター養成講座を開催しました。そこで誕生したインストラクター仲間が、コロナ禍も乗り越えてそれぞれの持ち味を出して活躍されています。

子どもとメディア北海道インストラクター活動実績(過去14年間を振り返る)						
年度	情報誌の号数		月別活動数		年間件数	活動したインストラクター実人数
	8～10月	11～1月	翌年2～4月	翌年5～7月		
2023	54号 26件	55号 44件	56号 19件		89件(仮)	9人
2022	50号 28件	51号 25件	52号 10件	53号 19件	82件	10人
2021	46号 23件	47号 28件	48号 6件	49号 26件	83件	9人
2020	42号 23件	43号 27件	44号 14件	45号 13件	77件	10人
2019	38号 41件	39号 33件	40号 20件	41号 0件	94件	13人
2018年9月に「子どもとメディア北海道インストラクター養成講座」実施(16人となる)						
2018	34号 23件	35号 37件	36号 16件	37号 48件	124件	12人
2017	30号 28件	31号 24件	32号 20件	33号 17件	89件	2人
2016	26号 53件	27号 6件	28号 17件	29号 17件	93件	2人
2015	22号 18件	23号 41件	24号 17件	25号 18件	94件	2人
2014	18号 20件	19号 12件	20号 13件	21号 11件	56件	2人
2013	14号 9件	15号 16件	16号 9件	17号 0件	34件	2人
2012	10号 6件	11号 10件	12号 3件	13号 5件	24件	2人
2011	6号 2件	7号 10件	8号 6件	9号 0件	18件	2人
2010	2号 3件	3号 2件	4号 5件	5号 0件	10件	2人
2009				1号 0件	0件	2人
小計	303件	315件	175件	174件	967件	

子どもとメディア北海道 情報誌の実績 (過去 14 年間を振り返る)

年度	情報誌の号数		主な内容	
2023	54号 宮城県が作成した「メディアとの正しい付き合い方マニュアル」	55号 「家庭に持ち帰ってタブレットを使う」ことについての保護者アンケート調査	56号 15年目に突入！！ これまでを振り返ってみました	
2022	50号 北海道の児童生徒のネット・ゲームの長時間使用に対するメッセージ	51号 「オンライングルーミング」について学ぼう！～北海道新聞の取材をきっかけに～	52号 インストラクターの活用が進むために～これまでのこと・これからのこと	53号 日経メディカル「モバイルデバイスは幼児が感情制御方法を学ぶ機会を減らす可能性」
2021	46号 予想以上に深刻な北海道の子どものネット・ゲーム依存を考えよう	47号 北海道大学大学院研究附属子ども発達臨床研究センター川田先生に学ぶ	48号 オンライン研修会 北海道大学教育学研究院乳幼児発達論研究室	49号 二つの研修会(主催・共催)を実施しました！
2020	42号 川島隆太氏講演会「読書と生活習慣が子どもの脳をつくる」に行ってきました！	43号 「子どもとメディア全国ミーティング」の報告	44号 「厚真町でのアウトメディア運動とこれからの取り組み」 横山 学	45号 オンラインでの交流会や研修会で学んだこと
2019	38号 「子どもとメディア北海道研修交流会」を、古野氏をゲストに行いました。	39号 第10回子どもとメディア全国フォーラム「スマホ社会と子どもの未来」	40号 コロナ感染予防の自粛・休園休校、緊急事態の中で、「子どもとメディア」について考えよう	41号 ZOOM交流会を開いてみました！
2018	34号 全道各地に養成講座修了者が16人も誕生！ これからの活躍に期待です！	35号 胆振管内アウトメディアフォーラム「親子の遊びと学びのひろば」	36号 文科省全国家庭教育支援研究協議会「川島隆太先生講演会」	37号 新インストラクターの活動が個性豊かに、それぞれの地域で始まりました！！
2017	30号 山田真理子さん講演会「乳幼児期の発達と電子メディアの影響」	31号 第9回子どもとメディア全国フォーラム「スマホ社会と子どもの育ち」	32号 ついに北海道でインストラクター養成講座実現！！	33号 行って来ました！福岡のインストラクターに学ぶ旅
2016	26号 内海裕美医師講演会「スマホに子守をさせないで」	27号 「子育て支援センターでの試み」佐呂間町 真如智子	28号 8年目を迎えて子どもの健やかな成長のためのネットワークを広げていこう！	29号 「未来を担う子ども達への思いを胸に」北広島町 三國勝美
2015	22号 「子どもといっしょに考えてみた！我家流アウトメディアの取り組み」宗谷管内豊富町 池田 亮子さん	23号 第8回子どもとメディア全国フォーラム「ネットが人類にもたらしたもの」	24号 北海道の中学校・高校の先生たちの実践に学ぶ～依存やトラブルから子どもを守りたい	25号 東京で研修してきました「ネット依存アドバイザー養成講座」

2014	18号 10月までの活動報告 & 12月までの講演予定	19号 行ってきました！ 早寝早起き朝ごはんフォーラム in ほっかいどう	20号 読み聞かせの大切さや電子メディアの危険について	21号 生活習慣と子どもの心身の発達～脳科学から見るネット社会の影(厚真町)
2013	14号 2人の脳科学者に学ぼう！(東京・旭川)	15号 諏訪代表に学ぶ！講演会で求められているもの	16号 諏訪代表、「母の友」4月号の特集で、7ページにわたり特集！	17号 諏訪代表、白老町で講演&拙会の交流会を開きます！
2012	10号 活動報告 芽室町・札幌・豊中標津・白老	11号 スクールカウンセラーとして、児童生徒・親に関わる中で気づく電子映像メディアのリスク	12号 教育のIT化から思うこと 旭川特別支援センター加藤多佳子さん	13号 しつけアプリの子どもへの悪影響、小児科医からのアドバイス
2011	6号 園児へのアンケート結果・報告会員さんからの投稿	7号 「高校生及びその保護者へのアンケート結果」特集号	8号 「子どもとメディア講座を受講して」 白老町 西村 篤子	9号 活動報告 学会・ママ教室・おとなの学校・別海町
2010	2号 「子どもとメディア北海道」への入会ありがとうございました	3号 新年のあいさつ・子どもとメディアアンケートへのご協力をお願い	4号 子どもとメディアアンケート	5号 今年度の会員さんの横顔 中学生への授業報告
2009				1号 子どもとメディア公式インストラクター北海道でふたり誕生

14年間で、1000件近い講演や授業ができたことに感謝です！！

- ★授業や講演の依頼内容は、この14年で学校の教育内容や子ども達への影響などにより、変わってきました。設立当初は、ほとんどが大人向け(教育関係者・PTAなど)でした。学校の種別では、中学校での講話が多かったですね。その後、PTAや子育て支援関係者など大人向けは継続して増え、「中学校では遅いので、小学校の高学年に伝えてほしい」との要望が増えました。
- ★コロナ禍の最中でも、講演依頼の数は少し減りましたが、オンラインでの依頼もあり、何より「児童生徒の長時間使用による健康への悪影響」を心配する教育関係者が増えました。「小学校の中学年、いや低学年から伝えてほしい」との要望が年々増えています。
- ★2009年の春にスタートした際は、2人のインストラクターでした。2018年に北海道でインストラクター養成講座を実施できて16人と増え、それぞれの職業や活動を生かして全道各地で伝えてくれています。情報通信会社や総務省なども、情報モラル教育としての講座をしてくれています。私たちの特徴としては、会の目的である「子どもの成長発達に合ったICT機器との付き合い方」を考えてもらうことでしょうか。
- ★情報誌の内容については、今回久しぶりに全てに目を通して、おなか一杯になりました。(笑)よくぞ、ここまで伝えたい思いが途切れないものだ、自己満足のような感じが驚いてしまいます。個人的には、会の仲間と東京や福岡に研修に行ったことや、遠い昔の知り合いが自分の子どもさんの「ゲーム依存」について赤裸々に投稿してくれたこと、インストラクターの熱い投稿などが忘れられません。これからもみなさんの力を借りて、継続していきたいと思っています。

これからも成長発達により付き合い方を学びながら伝えていきたいと思います

【研修のご案内】 主催：THInet（ネット健康問題啓発者養成全国連絡協議会）

Ⅱ. 乳幼児支援者1日研修会 8月25日(日) 9時00分～16時15分

(1)呼びかけタイトル 乳幼児期のスマホ・ネット使用にまつわる健康問題を知り、デジタル時代における子育てに大切なことを一緒に学びませんか

(2)内容と時間

■特別講演(60分) 講師 ネット・ゲーム依存予防回復支援 MIRA-i 所長 森山沙耶 氏
タイトル「デジタル時代の子育てで大切にしたいこと～ネット依存専門心理師の立場から～」
乳幼児を持つ保護者と支援者がデジタルメディア接触の現状と健康問題を考える際の留意点など

■最新の世界の研究について講演(30分) 名古屋大学 田村晴香氏
デジタルメディアが及ぼす乳幼児の健康問題に関する最新研究のトピックス

■乳幼児啓発の現状(10分)と質疑応答(35分)
乳幼児の現状と小児科医会等の取組 THInet 共同代表 田草雄一

■各論 ※乳幼児期の基本発達とメディアの影響について

- ① 脳への影響(30分)(伊藤理恵) ② 睡眠への影響(30分)/(伊藤理恵)
③ 視聴覚への影響(30分)/(水野史代) ④ 運動器への影響(30分)/(田草雄一)
⑤ 対策(具体的なコントロール・親子の関わり方、各地の取り組み)(30分)(笠松直美)

■グループワークショップ(40分) 15:10～

(3). 方法と受講料

■方法 オンラインのみ

■受講料 4,000円(午前・午後の部通し) (内訳:参加費3,000円、冊子1,000円)

午前の部のみ参加 2,000円(冊子・各論の講演スライドの販売なし。配布資料はPDFで送付)

午前の部のみ参加 1,000円(冊子・各論の講演スライドの販売なし。配布資料はPDFで送付)

※各論/「脳」「視聴覚」「睡眠」「運動器」講演スライドを有料(3,000円)で提供する。

*5月中に、チラシをHPに公開します。5月号ニュースにチラシ案内を掲載します

【配布資料について】

- ① **A**・「NPO法人子どもとメディア」定期誌Vol. 49号から
「乳幼児とメディアに関する医学論文の紹介:メディア視聴時間が長くなると子どもの発達スコアが低くなる(1～3歳対象)」九州医療センター小児科、ときつ医院 佐藤和夫氏
- ② **B**・「認定NPO法人子どもと文化のひろば『ふれいおん・とかち』」発行のフリーペーパー
流されない育児のためのワンテーマ情報誌「コノコト」Vol. 9「子どもとスマホ・動画の良い関係」
*以前からつながりのあるNPOさんです。質問にお応えする形式で参加しています。
- ③ **C**・蘭越町広報から「生涯学習情報コーナー『こぶしにまなぶ』」家庭教育通信
「ナカヤの子育て相談～2000人の親御さんから学んだこと～」
*7年前から、年に5回コラム欄を担当させてもらっています。(通算35回) 2023年度は、発達段階に合わせて、質問に回答する形式で書いています、「電子メディアの使い方、与え方」以外の子育て相談もありますが、何かしら参考にさせていただければ嬉しいです。

2024年2月～4月までの活動報告(19件)

月 日	テーマ・内容	行事名・主催者等	担当
2月 6日	子どもの心と体を健やかに育むために 入学までに家庭でできること	登別富岸小学校 1日入学時 保護向け	中谷
7日	子どもの発達を知って、子育てのコツをつかもう ～自己肯定感の育み方～	胆振東部PTA連合会・苫小牧市PTA連合会	中谷
9日	元気な脳で賢い自分に メディアのよき使い手として	帯広市立N小学校	工藤
14日	ネット社会を生きる子どもたち ～望ましい生活習慣とルールづくり～	空知教育局	中谷
17日	子どもの発達段階を知って、あったかコミュニケーション～ネット社会でのコツとヒント～	新得町PTA連合会	中谷
22日	厚真町厚南子育て支援センター プレママ向けミニ講座	厚真町教育委員会	櫻井
23日	乳幼児の親向け「みんな悩んで親になる」	黒松内町教育委員会	中谷
27日	元気な脳で賢い自分に メディアのよき使い手として	芽室町立M小学校 5年生	工藤
	ネット安全教室 3・4年生、5・6年生	札幌市藻岩北小学校	中谷
29日	PTA向け 子どもたちの未来を守る電子メディア講座	新ひだか町立桜丘小学校	櫻井
3月 7日	児童会館職員研修 「絵本の読み聞かせ勉強会」	千歳市教育委員会	岸
8日	元気な脳で賢い自分に メディアのよき使い手として	帯広市立M小学校 5年生4親子	工藤
14日	20周年記念講演会 「絵本のちから～ネット時代のいま」	東札幌ぐーちよきぱー	岸
19日	元気な脳で賢い自分に メディアのよき使い手として	帯広市立T小学校 知的学級高学年	工藤
20日	「絵本のちから～ネット時代のいま」	旭川市中央図書館	岸
4月 10日	北海道栄高校新1年生向け講話「高校生に学んでほしい情報モラル～自立した消費者になるために～」	白老町子育て支援課 白老町家庭教育支援員として派遣	中谷
20日	白老町竹浦小学校 1～3年生向け講話		吉原
	白老町竹浦小学校 4～6年生向け講話		中谷
25日	厚真町厚南子育て支援センター プレママ向けミニ講座	厚真町教育委員会	櫻井

【インストラクターのつぶやき】（活動報告に添えられたコメントから紹介します）

【帯広市 エ藤インストラクター】

緊急な要請をいただくことがあり、現場での危機感を感じさせられました。

感想には、メディアの体と心への影響を知らなかったという内容が多数。また、睡眠の大切さ知り早く寝るように努力し始めた。脳によい読書や外遊びをたくさんしたい。などこれまでの自分の生活を振り返り改善したいという気持ちを表してくれていることに嬉しく感じました。来年度もたくさん子どもたち保護者のみなさんにお会いできますように。

【厚真町 櫻井インストラクター】

【2月29日の講演について】

依頼をいただいた桜丘小学校は、生徒数減少で今年度で閉校するため最後の基調講演という形でご依頼いただきました。

事前の打ち合わせで、ゲームや動画の利用時間が心配な生徒さんが多くいらっしゃるとのことでしたので依存や健康被害のお話を中心にさせていただきました。

今回は親子での参加可能な形をとったのですが、ご両親と生徒さん3人で参加いただいたご家族もいらっしゃって、全体的に問題意識が高く非常に熱心にお話を聞いていただけました。

講演後の質疑では

- ・もっと早く知りたかった
- ・家族ですぐにルールを見直します
- ・あらためて読書の時間を大切にします
- ・タブレット学習に偏りすぎないように気をつけます

など嬉しなお声を沢山いただきました！

その中でも、教員の方からの質問で印象的だったのが「私の娘も小学校2年生なのですが、まだ間に合いますか？」というものでした。子育てしている中で、電子メディア利用に関する不安や疑問を気軽に相談できる環境がまだまだ不足している事を感じました。

子どもとメディア北海道としても、まだまだ情報をお届けすべき場所が沢山あるという事ですね！これからも、今まで以上に精進してまいります！

※補足ですが、今回初めて「子どもとメディア北海道」のホームページからのお問合せからご依頼につながりました！サイトの講演内容や紹介文を見てご指名頂けたようですので、内容等を変更したいインストラクターの方がいらっしゃいましたらお気軽にご相談ください！

【厚真町内での活動について】

ちょうど年度替わりの季節ですが、先日教育委員会の担当の方より連絡いただき今年度も継続して講演等をお任せいただけることになりました。

中でも、プレママさん向けのミニ講座の評判が口コミで広がっていて、継続のご要望を頂けたそうです。

これからも、喜んでいただける講座ができるように頑張ります！！！！

【札幌市 岸インストラクター】

3月は我が子の高校受験や卒業式があり、その前後に講演会をお引受けするかとても迷いました。しかし我が子と同じ位、どの子も「成長は待ったなし」。今回お断りすると、次に聞いて頂けるのはいつになるだろう？と考え、お引受けしました。保護者がネットの影響を知らずに無意識で与え続けているご家庭がいかに多いか、子育て中の親のひとりとして実感しています。

先で行われた公立高校の入試問題について道コン事務局が分析した内容を読みました。総評の出題内容・形式の項目では、「内容面では資料や問題文の読解力を重視した近年の傾向がさらに顕著になり、時間制約がある中で読みこなすことは難しかったと思います。また、国語で「作品や資料を見て、自分で考えた事や感じたことを書く」新傾向の記述問題が出題されるなど、表現力が問われる出題も増えています。今後も高校入試はもとより大学入試でもこのような傾向が続くと考えられますので、それを踏まえた学習が必要になるでしょう。」と書かれていました。

GIGA スクール構想が推進される一方で、大きな課題となっているのは読解力の低下です。入試は読解力なしには攻略できないにも関わらず、デジタル機器を自由に操れるのがこれからの時代に必要だと言わんばかりに小さな子どもたちにも与え、遊ぶ時間を制約する事の必要性は形式ばかりの現状にとっても矛盾を感じています。

読解力は一朝一夕で身につくものではありません。

読解力を身に付けずに成長して苦勞するのは子どもたちです。

保護者も含めて、ネット漬けになる時間を減らし、絵本の読み聞かせを含めた親子のコミュニケーションが増える事を願っています。

会員更新の時期となりました。

2024年度の会費の納入をお願いいたします。年会費(1500円)を、手渡しか、郵便小為替か郵便振り込みにて納入ください。ご面倒をおかけしますが、何卒よろしくお願い申し上げます。2024年度の情報誌の発行予定月は、2024年7月・10月・2025年1月・4月の4回となります。

年会費の納入方法

- ①年会費1500円を、事務局に手渡しする。
- ②郵便小為替1500円分を事務局まで郵送する。
- ③ 中谷個人郵貯口座【中谷通恵(ナカヤミチ)エ 19070 53986411】に、振り込む。
(必ず振り込んだことを、ナカヤにメール等か電話で伝えてください。)

〈郵貯から振り込む場合〉

【中谷通恵(ナカヤミチ)エ 記号19070番号53986411】に、

〈他行から振り込む場合〉

【ゆうちょ銀行 九〇八支店 普 5398641 〓

* 新規の方や、次年度と情報誌の発送先が変わった方は、事務局まで住所をお知らせください。

090-3773-8349

michie-n@plum.plala.or.jp